

【事業計画学科】

- ・ 自分は日々惰性で生活していたが、野田先生のお話を聞いて喝を入れられた気分になった。事業を構想する力が東北独立の原動力になればいいと思った。
- ・ かなり刺激の強い話で、とてもタメになった。頭の中でボンヤリとしかしていなかった事業構想について、かなりハッキリと理解することができた。これから先、自分のやりたいことが1つハッキリとしました！どうもありがとうございました！！
- ・ 初めてお会いしましたが、75歳とは思えないエネルギー・パワーを感じた。その言葉の1つ1つは温かさと言説力を含んでいて、数々のフレーズが印象に残っている。発想をする人とそれを実現する人をつなぐ人が「キーパーソン」陳腐な構想からは陳腐な計画しか生まれない「夢が実現した時の素晴らしさ喜びを考えよ」なんか、やっとな宮城大学の理念をつかめた気がする！夢を持って歩いていこうというパワーが沸いてきた。
- ・ 久しぶりに野田先生のお話を聞くことができ、とてもエキサイティングでした。野田先生のお話は何度聞いても斬新で勢いがあり、心を奮い立たせられます。最近自分の精神が停滞していて、志向がクリエイティブでなかったのですが、そんなモヤモヤも野田先生のお話とあの物腰で吹き飛ばしてしまいました。今日からまた、入学した頃のエキサイティングな気持ちを持って、生活していけそうです。20歳の若者なのに野田先生に元気を頂いてしまっています。むしろ野田先生に負けないゾ！くらい的心意気、発想で行きたいと思います。もしまた気持ちが停滞してしまった時は、先生の本や講演などで気持ちを奮い起こしたいと思います。今日は貴重な時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。
- ・ 90分間非常に面白く構想に関する話が一番興味を引きました。自分自身今現在宮城大学に第2グラウンドを増設(工業団地内あたり陸上競技場)することを目指すプロジェクトを持っています。これには宮城大学を全国的に有名な大学にするべく全日本駅伝大会などに出場できるように陸上競技部の教科を目的とし、今はどのような方法をとれば、県や大学が納得してくれるかアイデアを絞っているところです。何かよいアイデアを下さい。お願いします。
- ・ 今回は野田先生がいらっしゃるということで、ぜひお話を聞きたいと思い、昨年も取ったこの講義を拝聴させていただきました。野田先生はこの宮城大学のキャンパスも学生も大変気に入っているというお話を聞き、私も嬉しくなりました。私は高校3年生の時に宮城大学のオープンキャンパスに来て、キャンパスの素晴らしさ、学生の素晴らしさ、そして野田先生のお話を聞き、この大学に入ろうと思った人間です。
しかしこの大学に1年以上いながらも、未だに事業構想もできず、たった1年後も2年後も10年以上先の未来のことも見えてない自分がいることに気がきました。だんだん大学に居ること、今自分のやっている様々なことが当たり前になり、いろいろなものを見失っていました。
今回野田先生のお話を聞き、気付いたこと、得たものが多くありました。そして、何よりも元気を分けていただきました。本当に感謝しております。野田先生にお会いできたことを光栄に思います。ありがとうございました。またお会いできる日を楽しみにしております。
- ・ 元気でした！以前情報表現論の講義の時間に「宮城大学は開学当初の元気がなくなっている」という意見がありました。その時は私はその意見の意味がよく分かりませんでした。今日野田先生のお話を聞いて、あの意見は本当なんだと改めて思いました。私も4年前の学生のように、まいしゅ野田先生のお話を聞いて過ごしたいです。心から野田先生に戻ってきて沢山講義をしていただきたいと強く思います。

また、事業、構想、計画の意味が、やっと見えた気がします。私は野田先生の講義を図解メモでとりました。今日中にきちんと整理し直して、今日のお話を自分のものにします。またぜひ野田先生のお話を聞きたいです。ありがとうございました。私がこの大学に入学した目的に近づくことができました。

- すごく野田先生のパワーを感じました。講義の中で先生が1度もネガティブな発言をされなかったところに先生の人生に対する姿勢がうかがえました。最近ちょっと人生つまらないなと思うことがありますが、「つまらない」ではなく、人生とは自分が楽しくしていくものなんですね。こんなに集中して講義を受けたのはとても久しぶりです。

私も知性と品性を兼ね備え、人生に大きな目標を持って生きていける大きな人間になっていきたいと思えます。たくさんの元気を頂けました！本当にありがとうございました！

- 本当に元気が出ました！これから大学で学んでいくべきこと、学びたいことが最近分からなくなっていたのですが、それを見つける糸口を先生のお話の中でつかんだ気がします。それから「実現できたらいいな」と思っていた夢を「絶対に実現させよう」という気持ちになりました。もっとたくさんお話を聞きたくて、90分が物足りなかったです。

- 話し方に随分自信のある方だなあと思いました。実績を積み上げてきた分、自信が生まれるのだと思います。気になったことは、19歳の大学生に向かって家庭教育のどうのこうのを言及されたことです。わずかながら気になりました。今回は図解をしながら聞いていたので筋肉が非常に痛いです。

野田先生へのメッセージですが、講演される前に先生の腕時計を隠しておくべきでした。非常に残念です。資料は父親から以前に入手していたので知識だけはあったのですが、今回改めて講演を聞いて、初めて理解した気分です。都市計画に興味があるので今日の講演は参考になりました。ありがとうございました。

- 野田先生のお話を聞いて、元気を一杯出した感じがしました。同時に私もいろいろ考えさせられました。ただ1回の人生で、どうしたいのかをずっと考えています。3年間、自分らしい自分を見つけるために1人で日本に来て、3年経っても答えも見つからないです。ただ、毎日新しい自分がいれば満足な気持ち一杯です。つまらない人生は大嫌いです。でも、頑張れば頑張るほど、自分自身の平凡を痛感しました。だが、前でも後でも毎日歩いていくのが大事だと信じています。

- 以前から先生の講演は面白いと先輩から聞いていたので、楽しみにしていました。独自の視点を独自の論調で話された今回の講演は、大変興味深いものだった。特に「東北独立論」と「夢みたいな話の実現」については、なるほど気付かされるが多かった。過去は週に1度話を聞けたということなので、大変羨ましい。はっきりいって今の事業構想総論は面白くないからだ。ただプレゼン資料に沿って話すだけなので、野田先生のようなのが本当の講演であり「授業」のあるべき姿だと感じた。

- 「明日何をやるか」を考える野田先生、「明日何が起こるか」を気にする我々。人間は未来を予見することができないからこそ、「未来を(に)どうする(何を)するか」を考えることの重要性(というより重大さ)を思い知りました。事業構想のお話の中でも、「非現実的な(夢のような)発想」と「現実的な構想」を結びつけるという考え方も「非現実的な」=「未来の」と解釈すると先生の考え方は、やはり一貫性がありますね。私達は未来の話をするのを随分忘れていているようです。したとしても、現実をただ延長しただけの味気ないものです。しかし野田先生のお話で元気が出るのは、それが未来につながる話だからではないでしょうか。

夢を語っていいじゃないか」聞かれなくても語ろう、そうしようと思います。今日は本当に(生涯で最も有意

義な 講義でした。ありがとうございました。

- ・ とても素晴らしい 講義でした。最初から最後まで集中して聴き、何か自分のためになることを一つでも吸収しようと思いました。とても元気が出ました。漠然と生きている自分が恥ずかしくなり、今できることを真剣に考えて生きていこうと感じました。
- ・ 今日初めて野田先生に会いました。時間が経つのを忘れるほどで楽しかったです。目が生きる。胸を張る。今の自分は情けない気もしました。これからの人生をどう生きていゆか、ちゃんと考えたいと思います。改めて宮城大学はすごい大学なんだと思いました。今日はお忙しいところ、ありがとうございました。
- ・ 自分を活かせるか分からないけれど、自分が頑張りたい場を最近見つけました。そこではさらに自分のできることを見つけたいです。8月9日～14日、仙台メディアテークにお越しください。
- ・ 野田先生のお話を聴いたのは初めてでしたが、とても興味深く聴かせていただきました。学部の名前になっている「構想」の意味を、大学を創立した学長ご自身からうかがえたことは貴重なことだと思います。私も今は豊かな発想ができるように、毎日たくさんの「夢見たいな話」に考えを巡らせようと思います。そして周りの人の「夢見たいな話」をたくさん聞かせてもらおうと思います。ありがとうございました。
- ・ 野田先生はすごい元気な人だって、先輩に聞いていたから楽しみだった。実際に聞いてみたら、何か考え方が広まったと思う。つーか、なんて表現したらいいかわかんないけど、本当にすごいと思った。また呼んで講義をしてもらいたい。むしろ何とかして宮城大学の授業の中に、野田先生の講義を毎週1コマ作ったらいいと考えましたね。
- ・ 事業構想というのが未だによく分からなかったが、今日野田先生の話聞き、かなり理解することができた。自分はいくら発想力がない方なので、周りの人の意見を積極的に盗んでいきたいです。いつもはこういう講演だと眠くなってしまうのですが、ぜんぜん眠くならない話をしてくれたので、とてもよかったです。
- ・ 構造 発想 (= 非現実的) :今の自分である。今まではこの夢の地点で止まっていたけれど、この夢こそが大事だなと思えた。
少しでも近づける。(一生懸命やりたいと思う)
計画 (= 現実的) 参加者を納得させられるような内容に。資金を出させる。
今までは資金がなくて困っていたが、こういうやり方なんだと妙に納得してしまった。
- ・ 「たった一度の人生」という言葉が、とても印象に残った。夢がこころよ受け入れられない時代において、自分の夢を推進する力を頂いた。大学に入って、ある程度自分の人生は決まったように思っていたが、そんなことはなく、「とんでもないこと」を考え、それを実現する計画を立てることが可能だということを悟った。宮城大学に入って受けた授業の中で、一番面白かった。宮城大学って、いい大学だなあと思った。
- ・ 本日の講演、とても面白かったです。図解でメモをとっていたのですが、なかなか難しかったです。野田先生の講演では本当に様々なことを考えさせられました。先生には負けていけないと思いました。
- ・ 大学に入って3ヶ月、ちょっと期待していたよりも面白くないなあと感じていたのですが、今日のお話を聞いて、

宮城大学に入って良かったと改めて感じました。確かにこの建物を見るだけで、すごい大学に入ったなあと思います。それと同時に、聞くに堪えない講義をする教授がいることも事実だと思いました。それを自分達でどう面白いものに変えていくかが重要なんですね。胸を張ってスタスタ歩くこと、いつも頭の中に入れて行動したいと思います。また、面白い発想をし、なおかつそれを実現できる人になれるよう、4年間頑張りたいです。

- ・ 去年？一昨年？のオープンキャンパスで話を聞いていたので、今日がとても楽しみでした。実際とても面白く話を聞くことができました。私は地元が宮城なので、宮城大ができる時、よくニュースで見っていました。本音を言うと、自分の大学を作りたいだけなのではないか！？とっていました。今日の話でも「私がつくった」「私が作った」とばかりあって、「ふーん」と思いました（すみません…）。でも、自分らしさを大事に、私も夢を実現させようと思いました。またお話が聞けるのを楽しみにしています。
- ・ 野田先生のお話を聞いて、生きるのが楽になった気がします。若い人にも年取った人にも「未来」があり、物理的な時間の幅だけが違うということに、非常に新鮮な驚きを覚えました。大学とバイトと家事と遊びに追われ、何かと忙しい毎日を過ごしていますが、これからは自分が大切にしたいもののために、もっと有意義に時間を使いたいと思います。一つ気になるのは「家庭」を野田先生は重視しているようでしたが、「家庭」とは、そんなに重要なのでしょうか？
- ・ とても活気があって、話を聴いていて力が湧いてくる気がしました。特に「普通という枠にとらわれない」という言葉が、心に残りました。そして、発想力を豊かにするには好奇心を持って色々な情報を吸収することが大事だと思ったので、これから行動していきたいです。
- ・ 私はいつも、眠そうに起きていると言われます。そして自分でもそう思っているのもっとメリハリのある態度で生きていこうと思った。野田先生から活力をもらいました。私の方が若いのに…。
- ・ 野田先生のお話を聞くのは、今日で3回目である。高3のオープンキャンパス、去年のこの授業、そして今日である。毎回講義を受ける度に感じるのは、自分は何かをしなくてはならない、ということ。この大学に入って1年半、自分には何が身につけているのだろうか？具体的には良く分からない。しかし私は、この大学において授業から得たものよりも、先輩や友人から得たものの方が大きいような気がする。自分と似た考えの人とも多く出会った。全く自分の考えと異なり、良い意味で自分を変えてくれる人とも出会った。宮城大学は「できた人間」が多いと感じる。先輩には人間として尊敬できる人が多い。この大学に入って良かったと感じる一番の所は、素晴らしい出会いが多くできたことである。素晴らしい大学であるからこそ、素晴らしい人間が集まったと思う。このような大学を作った野田先生に感謝し、心から尊敬します。今日はありがとうございました。
- ・ 生き方や考え方みたいなものが、自信とともに満ち溢れている方だと思い、尊敬できた。しかし、今日の講義では、共感という点では少なかった。多分それは、自分の経験不足や未熟さからくるものだと思う。これから自分をしっかり構築できるだろうか…。
- ・ エキサイティングな授業、お話でした。事業構想と計画の意味が良く分かった気がします。大階段を1階から4階まで登ると息が切れます。しかし、登り切ると妙な達成感があります。私はあの階段が好きです。「夢」の様なことを構想するのは楽しいことだと思います。様々な知識を集め、「夢」の為に頑張っていて死んでいく人生も悪くないかもしれません。品性を身に付けます。

- ・ 「事業構想」とは何なのか、大学入学後、初めて肌で感じることができました。受験期に「宮城大に入ったら…」と沢山思い描いていた夢を最近見失っていて、目的や目標がない日々が続いていたのですが、徐々にその「夢」を思い出すことができました。僕も野田先生に負けない人生を生きてみせます。今日は有難うございました。
- ・ 私は去年も野田先生の講義を聴きに来ましたが、やはりあの存在感に今年もすごい圧倒されました。お話もその場その場の状況に応じて変えたり、まとまりがあり、とても聞きやすい（頭の中に入れてきました）。一言一言に無駄がなく、聴いている私も、一言でも逃すまいと必死で聴いていました。そしてあの魂のこもった離し方とパワーにすごい刺激を受け、元気をもらいました。私は夏休みに向けて沢山の予定があり、ヘコタれてしまいそうでしたが、負けてはいられない！頑張ろう！と思いました。素敵な講義をありがとうございました。
- ・ 私はつまらない講義をサボりがちです。そして本を読んだり、ふらりとどこかへ出かけたりしてしまいます。しかし、意識の底には学校にちゃんといかなくては…という気持ちもあり、とても息苦しい時期もありました。しかし今日の野田先生のお話をお聴きして、「それでもいいのか」と思うことができました。私は私の時間を私が一番有意義だと思うやり方で使いたいと思います。アメリカの大学のお話は、少し羨ましかったです。野田先生のお話を宮城大学の全教授に聴いていただきたいです。そして、全部の講義が面白い！ということになったら、ちゃんと学校に来たいと思いました。ためになるお話をありがとうございました。
- ・ 自分も野田先生と同じく、東北活性化を目指す一人である。また、日本全国を回って、東北のどこが素晴らしく、どの点が悪いかなどということは知らないが、東北が好きだ。その東北のために何ができるか？まだその答えは分からないが、きっと何かあるはずだ。その何かをこの大学で見つけたい。そうすれば自ずと自分が何をこの大学でして行かなければならないのかということも分かってくる。それは積極性であると思う。大事なものは気持ちだ。
- ・ 今回初めて野田先生の話聞いた。力のある声と、時々ユーモアを入れた話に聞き入っていた。自分があと1年早く入学していれば、またはあと1年野田先生が宮城大学に残ってくれていたなら、野田先生の講義を聞くことができたのに、と残念に思う。つまらない講義はやはり先生によるもの大きいと思った。今回、本当に野田先生の話聞くことができて良かった。
- ・ 野田先生には何かのオーラを感じた。声に力があつた。この大学にきて1番か2番目にいい講義であつたと思う。
- ・ 野田先生の話聞くのが今回で3回目なのですが、去年に比べ自分の意識が変わつたのか、今回はすごく刺激を受けました。私は野田先生のように、まだ確固たる「自分」を持てずにいるのですが、いつかどんなに時間がかかっても「自分」を持てるようになりたいと思いました。「国家からの開放」この言葉に深い感銘を受けました。今まで日本で一生を終えることを当然のことのように思っていたのですが、もっとカラを破らなければと思いました。今日は素晴らしいお話をありがとうございました。
- ・ 野田先生のお話はとても面白かったです。約90分、とても楽しく聞かせていただきました。先生の知識の広さにはとても感動しました。先生の話し方はとても説得力があり、今日のお話を私の人生の大きな参考にしていきたいです。「品性は知性よりも大事」自分の人生に胸を張って生きていきたい。

- ・ 社会人大学生です。日本の終わり=権力機構の終わり、確認作業が必要だと思ひます。己の哲学、思想と照らし合わせてお話を聞くと、浅はかな部分の多さに気がきました。
- ・ 今日、野田先生の授業を聴いて、本当に嬉しかった。人生にとっての説明が素晴らしいです。
- ・ 高校時代、3年間をカナダで過ごした私にとって、日本の大学へ進学することに大きな迷いがありました。そんな時、母から野田先生のことを聞き、野田先生が作った宮城大学への進学を決めました。今日、野田先生のお話を聞いて、これからの自分がどうあるべきなのが見えたように思ひます。アメリカの大学への入学を一度は諦めた私ですが、もう一度トライしてみようかと思ひます。野田先生から元気を頂きました。ありがとうございます。
- ・ 「明日に何をすべきか」を持っていない若者がいるということにショックを受けた。まさに今の自分に足りないことであり、今の日本人に欠けていることでもあると思ひたからだ。それを得るために必要なことが「構想力」なのであると思ひます。
- ・ 面白いお話でした。楽しませていただきました。この学校の建物も、とても素晴らしいですが、テニスコートだけは、もっとしっかり作って欲しかったです。
- ・ 野田先生の講義は今日初めて聞きましたが、初めてではないような気がしました。この大学に入る前からTVやニュースの中で、よく話題になった人物であるのを知っていたからだと思ひます。74歳という年齢を全く感じない迫力のある講義でした。特に、人は眠る時にはスヤスヤ眠り、歩く時にはスタスタ歩く、どんな行動をしても、とうとうと胸を張って行動することが大事だということは今の若者達に必要な言葉だとすごく感じました。また、その姿勢を事業構想の精神に生かすべきではないかと思ひました。
- ・ 普通に考えれば、隠居の御年でもおかしくない野田先生を突き動かしているエネルギーは一体何なのでしょう？ まだやりたいことが、沢山あるということだろうか？ 限らない欲望こそが人生を豊かにするのか？ 品性はもちろん大切ですね。あと話術というものは、とんでもなく重要だと実感しました。話が面白くなければ、どんな企画も通らないし、人を説得、納得させられないと。
- ・ なんとというか、世界征服もしかして出来なくはないんじゃないかと思わせてくれる内容でした。日本が滅んでも東北は独立できるし、宮城県は世界の首都になるかもしれない。オレはもしかして死んでも死なないかもしれない。最高でした。
- ・ 今日はいこれから自分がどうしたらいいか、野田先生の講義を聴いて小さな道が出来た気がします。私はいこれから、豊かな発想を豊かな構想力で計画、構想し、実現できるような人になりたいです。私はいこれらを実現するために、宮城大学という他にはない素晴らしい大学にやって来たのだと、今日確信しました。4年間無駄にしないよう1日1日を大切にしていきたいです。本当にありがとうございました。
- ・ キャンパスの中の階段の話はとても面白かった。4Fと1Fを行ったり来たりするのは、とても面倒だと思ひていたが、眠気を覚ます「そして素晴らしい景色を見せる」そんな効果があったとは驚きた。先生の夢である「東北の独立」、具体的にどんな風になるのか分からないが、実現するにはかなりの困難があるのではないだろうか。でも実現したら素晴らしいと思ひます。

- ・ 今日情報表現論の講義が始まって以来、初めて遅刻せずに出席しました。野田先生には個性を感じました。私達が学生同士で感じる個性とは、にじみ方の強さが異なりました。

【デザイン情報学科】

- ・ 今年も野田先生のお話が聞けて、よかったです。去年は他の講義をサボって参加させていただきました。野田先生のお話を聞くと、元気とやる気が出てきます。1年生もそういう気持ちになってくれたと思います。最近、学生の質が悪いんじゃないかと思う時があります。1期生から見れば、私達の学年も野田先生の講義を受けていないので、私達も質の悪い学生なのかもしれませんが…。卒業までに野田先生が学長に戻ってきてくれたらいいと思います。それで宮城大生に刺激を与えてください。
- ・ 宮城大学の設立概念を聴いたことで、これからの大学生活が新たに展開しそうです。自分の想像していたものと違う部分があり、もっと早い時期に詳しく聴きたかった。東北の独立という構想をはっきりと公言し、その実現まで至る経過に自分も参加したい。私の夢は日本国外で建築事業を展開し、何も建物のない地域に新たな技術を伝えること。そのきっかけを、この宮城大学でつかみたい。
- ・ 残りの人生で何をしたいか? 」と聞かれて、何も答えられない自分が情けない。今からでも遅くないので、早速大きな「志」を立ててみたいと思う
人間には「知性」と「感性」が大事」と痛感します。そしてどちらを育てるのも「家庭」ですね。今日改めて確信を得ました。
会社に依存しているうちは、会社に対して物を言えないし、国に依存しているうちは、国に対して発言できない。まずは会社から独立することから始めたい。
*野田先生の眼光の鋭さ改めてホレボレしました。私は若いんだから、もっとキラキラしたいと思います。
- ・ 野田先生のお話を聴くことができ、また今日も元気に過ごせそうです。いえ、次にお会いできる時まで精力的に物事に取り組んでいけそうです。改めて、発想、構想、計画が、いかに事業をなすかとい重要なファクターであることを思い出しました。宮城大学で野田先生の教えを受けたことで、どこへ行っても通用する人になりたいと思います。そしてそのために努力していきます。非現実的な発想を現実的な計画に落とし込むために、久恒先生の図解を用いていきたいと思います。後期は久恒先生の授業をとりたいたいと思います。本日はどうもありがとうございました。
- ・ とても基本的なことをたくさん話して頂いて、自分を見直すきっかけになった。「堂々と生きる」という言葉が、とても胸に残っている。また、夢を見ることの大切さを改めて知った。人が思わないような夢を見る=面白い発想をする。そしてそのことを実現させる力。これが大事だと思った。夢を見ることはいくらでもできる。でもそれを夢で終わらせないような力が欲しい。頭を柔らかく持ち、その中でも現実を見て、スケールの大きな人間になりたいと深く思った。今日はありがとうございました。また今度お話が聞ける時があれば、元気をもらいに聞きに行きたいと思います。
- ・ 夢のような話だが、実現したら素晴らしいこと。今の私には、そのような楽しみのある夢はまだ見つからない。しかしこの宮城大で、そんなことを見つけ出し、そして実現できる力を身につけたい。宮城大学でなら、うまくいくと思う

- 私は 2 年生で、野田先生の話をお聴きすることがなかったので、ぜひ今回は聴いておこうと参加しました。私はいつも、何か新しいこと、自分が充実できることをしようと、常に悩んでいます。これといって構想力があるわけでもありません。だから、とりあえず参加型としてボランティアとかプロジェクトに参加しています。今回講義をお聴きして、少しアイデアの生み出し方を学ぶことが出来た気がします。話に集中してしまい、メモを少し残せなかったのが残念です。またぜひお話を聴きたいと思っております。宜しく願います。本日はありがとうございました。
- 2 年ぶりの野田先生の講義は、内容よりも懐かしさで感動してしまいました。野田先生は超売れっ子のお笑い芸人の漫才のように、その話はとても人の興味をひきつけ、面白いのどこか知的で元気のいい歯切れのいいしゃべり方はあこがれる。変な言い方をすると独裁者になれるカリスマ性を持っている不思議な人だ。
- 野田先生のお話を聞いて、自分は日本という大きな集団に縛られ過ぎていると考えさせられた。集団の中にいることで、自分「を殺し、集団の「和」をあまりに尊重し過ぎていたので、これからは少しずつ自分」というものを主体的に考えていこうと思った。
- 野田先生のお話を直接聞いたのは初めてでしたが、本当に楽しく力強く何ともいえないパワーを肌で感じました。昨年亡くなった私の祖父も話し好きで夢のある人でしたが、年も近いし似てるなあと懐かしくなりました。私は学校を作るのが夢です。現在日本の教育に対して危機感を覚えています。全く新しいタイプの学校、教育機関、そんなものが作れたら、私の人生も日本の未来も明るいものになると信じています。今日の先生の話で勇気づけられました。ありがとうございます。
- 久しぶりに野田先生のお話が聴けてよかった。常識はずれの発想を得るためには、やはり、ある程度の常識や知識が必要だと思った。あと自分には品性がある方なのか、ない方なのかドキドキした。多分どちらかというとなら方かもしれない。
- 頭に残った話

素晴らしい発想は非現実的である。その反対に計画は現実的でなければならない。発想と現実を結びつける人間が重要。

計画 = 時間 + 金 + 人

大学を出て何をするつもりなのか、頭の中に入れておくこと。短期的なものから長期的なものまで。

明日やるべきことに期待を持てるかどうかで人生を左右する。

明日は今日とは断絶して考える。

野田さんへのメッセージ：「やはり野田さんはカリスマでした。」
- 構想力と計画力の違いにハッとしました。「夢見たいな話」はその夢みたいな話が実在して欲しいかどうかということが大事だという話を聞いて、今までの自分に構想力が欠けていたと思いました。大学 4 年間の間に、構想力を豊かに育てていこうと思いました。
- 宮城大設計計画の時の話に大変興味がありました。大学を造るのに、あえてリゾートホテル設計経験のある建築家を起用したのは、宮城大の理念の一つ「ホスピタリティ」にぴったりだと思いました。本部棟の形が丸になった由来のウワサは聞いたことはありますが、まさか本当だったとは！驚きです。

- ・ 自分が大学に何をしに来たのか、考えさせられる講義でした。大きな事業を考えられる人間になれるよう、これからの大学生活で何をしなければならぬのか、時間を上手に使いたいです。
- ・ 愛知出身の野田さんは、私の尊敬する人である。東北のために働いたり、学生の気持ちがとてもよく分かっていたり、今宮城大にいる教授のほとんどは、もう化石である。何一つ本気になって教えてくれない。学生と教授が一体となって、素晴らしい講義を送りたいと思った。残り少ない学生生活、初心に戻って頑張りたいと思わせる素晴らしい講演だった。
- ・ 2年ぶりに野田先生の講義を聴いたが、期待通りのお話で、大変面白かった。特に知性と品性のお話は興味深かったと思う。品性とは知性から産まれるものという発想がすごかったと思う。何より先生のお話は、学生への活性剤のような働きをもっていた。非常に面白かったと思う。ぜひまたお話を聴きたい。

【看護学科】

- ・ 野田先生の講義を聴いて、本当に元気が出た。最近ずっと「この大学で何をやるんだろう？」と疑問を持ち、自分のためになるかどうか分からなかったけど、改めて何のために大学に来ているか、自分の夢は何かを考え、やっぱり宮城大学に来て良かったと思った。今まで色々な講義を聴いてきたけど、こんなに楽しくて、いろいろなことを考えさせられたことはなかった。またぜひ講演やって欲しいです。「これからの人生どうするか」「大きいことから小さいことまで考える」一番心に残った。
- ・ 野田先生の話聞いて、とても元気が出た。それと同時に、宮城大学で学ぶことが出来ることを幸せに思った。一生懸命いろいろなことに挑戦しようと思う。帰ったら、「独断と偏見の東北活性論」を読もう。あと野田先生の笑顔がとても素敵だった。
- ・ 宮城大学に入学した動機の一つは、野田先生の人をひきつけるパワーに感銘を受けたからでした。野田先生の話には必ず「起承転結」、きちんとした論理、そして何より聞いている私自身が夢をもてる、ということが実感できます。今私が在る意味、そういうことに迷ったり悩んだりしていましたが、今日の講義で少し明るい光を見つけられたようです。知性と品性を兼ね備えた人間になりたい、そう思います。この宮城大学で何か変わることが出来る、そんな自信がつかしました。
- ・ 今の私には志があります。1年後、5年後、10年後、何をしているかは分からないけど、「何をしたいか」というものは常に持っています。大きいものから小さいものまで様々ですが、ずっと変わらないのは大きい夢です。小さいことは、そのときの状況で変わったりしても、10年後、看護師として患者さんのケアをしたいと思えます。
- ・ 時間がとても早く過ぎたように感じました。先生が注意した時、「私の考えを押し付けるわけではない」とおっしゃったのがすごく印象的で、今までの先生という存在とは全然違い、驚きました。また、元気がなくなったら階段を1段1段かみしめながら堂々と昇りたいと思います。先生の講義で、たった1度の人生をどうい風に生きるかを考えようと思いました。私は今の時点でも、宮城大学に入ったことをすごく良かったなど満足していますが、もっと大学生活を充実させて未来を見るために向上心を持って生活していこうと決心します。貴重なお話をありがとうございました。
- ・ 最後の「日本に生まれたからといって日本にとどまることはない」、自分の活躍できる場をそれぞれが見つけ

ればいい」という言葉が印象深かった。宮城県に生まれて、宮城大に通い、外の世界を体験したことのない私は、未来への希望はあっても、自分が今何をすべきか、どこですべきかについての見通しが立っていない状態で今を過ごしている。『夢みたいな構想』を夢だと諦めずに、自分の人生として実現できるような人になりたいと思った。

- ・ 今回野田先生を初めて見ました。そしてお話を聴きました。とても元気な方でビックリしました。私は1984年4月1日の夜に生まれ、多分この大学で一番若い学生なのだと思いますが、そんな私よりもはるかに若くてエネルギー的な人でした。人間の姿というのは、その人の人生を表しているのだということを実感しました。先生は「明日は今日ではない。明日は今日で断絶」とおっしゃっていて、自分が今、「若くない」ということの意味が分かりました。夢をたくさん持っているけれど、疲れることばかりで・・・」という自分がいたのです。疲れることばかり・・・」そういう考え方を、物事の受け取り方を変えて先生のように「これを実現させたらどんなに素晴らしい人生になるだろう」ということを考えていこうと思いました。今は「知」の時代、初めてのテストが不安で元気がなかったのですが、何とか頑張ろうと元気ができました。
- ・ 残りの人生、何をしたいか」と聞かれた時に、「大きいものから小さいものまで色々あります」と言えるかどうか？というお話しにドキリとしました。私は看護の道に進もうと決めてこの大学に入りましたが、看護師になってその後何をしようとか、また、もっと近い未来にこんなことにチャレンジしようとか、あまり考えたことがなかったように思います。明日はこんなことをしようという計画がある方が確かに楽しい。私も手帳を見るのが楽しくなるくらい、色々なことにチャレンジしていきたいと思いました。まず手始めに、この夏休みの計画を立てます！
- ・ 久恒先生も言っていたように、野田先生の講義を聞いてみて元気をもらったような気がした。私は毎日先のことを考えると不安になってばかりいたのだが、野田先生の講義のお陰で明日は何をしようかと少しワクワクした気持ちになった。また、これから4年間宮城大学で色々な知識を得ようと改めて思った。そして起きている時はいかにも起きているようにして、毎日シャキッとした態度で行動しようと思った。
- ・ 若い人に未来はあるのか？物理的時間が長く感じられるだけである。75歳の野田先生は「東北の独立」という大プロジェクトに向けて、熱意を燃やしている！どんな若い人でも自分の志がなければ、生き生きとすることは出来ない。志のある人はみんな目が生き生きとして姿勢が良い（胸を張って歩く）、自分の顔つきに表れる「知性」と「品性」。品性の方が大切！なぜならば、ある程度知性がないと顔に品性は表れてこない。また、自分の個性を最大限に発揮して生きることこそ人生。とっても熱い講演でした。野田先生をこんなに近くで見たのは初めてです。先生は背がピンとして、とても若々しい印象でした。また、ぜひお会いしたいです。
- ・ 素晴らしい人だなと思いました。自分の考えを持って前向きに元気に生きていけることは、素敵なことだと感じました。とても面白い講義を聞けて良かったです。宮城大学は環境には恵まれているけれど、交通の便が悪くて、変な形をしてるし、よく分からない池もあるし、少し疑問に感じるところがあると思いますが、今回の講義を聞いて、どうしてこんな形をしているのかを知ることができて良かったと思いました。
- ・ 非現実的な発想と、それを現実にすることの重要性を教えてくださいました。私は事業構想ではありませんが、この学部の存在意義を自分なりに理解できました。そして講義を通し、先生は未来の楽しみ方を伝えてくれました。私も先生に負けないくらい、自分に自信を持って誇れる人生を歩んでいきたいと思っています。次回の講義が楽しみです。

- ・ 以前から両親に野田先生は素晴らしい人だと聞いていたので、今日の講義を非常に楽しみにしていました。今日初めて会ってみて、非常にパワフルな人だと思いました。聞いていると非常に元気が出るし、何か将来に希望が持てました。野田先生が学長の時に、この大学に在籍していたかっただけ強く思います。また次も宮城大学で講義をする時は、聞きに来たいと思います。ありがとうございました。
- ・ 野田先生の講義を聴いて、自分のこれからについて構想していました。自分は将来、看護師として働きたいと思っていたのですが、短期、中期、長期的に計画が立っているかと考えたら、なにに気が付きました。なるべく早く自分のこれからについての構想が、漠然とでもいかにできるようにしたいと思いました。
- ・ とても興味深い話で、最初から最後までしっかり聞くことができた。この大学の構造は先生の構想からということだったが、私は2つの学部が一緒になっているこの建物がとても良いと思う。私は看護学部だけど、事業の人達の考え方というのはかなり異なるし、同じ建物の中にあるから交流できて、いろんな考え方が吸収でき、いろいろな発想ができると思った。将来自分が看護婦になったら、医療のいろいろ実現不可能なことなども考えられるようになりたい。
- ・ 75歳とは思えないパワーでした。自分よりお年を召した方から、こんなにもたくさんのパワーを頂いたのは初めてです。先生の未来に対する構想は、とても素晴らしいものでした。「東北の独立」の講演要旨は是非読んでみたいと思っています。自分を磨き、自分の小さな夢も、大きな夢も、語れるような人間になりたいと思います。そして必ず、計画をきちんと立てて、現実のものにしたいです。
- ・ まずは75歳とは思えないパワーに圧倒されました。野田先生の講義を聴けたことは、本当に幸せなことだと思いました。そして、野田先生のつくられた宮城大学で、勉強に励めることに誇りが持てると思います。未だに分かっていなかった事業構想というものも、少し分かった気がします。東北独立という素晴らしい計画について、冊子をきちんと読んで、きちんと理解したいと思います。そして自分を見つめ直し、自分の夢、自分の将来を堂々と人に言えるような人間になりたいと思います。
- ・ 宮城大学を築いた1つ1つの理由を知ることができました。人間は豊かな構想力が必要だということを知りました。「明日の死」を考えるのではなく、「明日どうなるか」を考えること、する方が良いのではないかと。野田先生は私が今までに聞いた話の中にはない考えを持っていらっしゃる先生で、面白くまた心をひかれる人であると思いました。野田先生のファンクラブの会長である「まつらちひろ先生」が、野田先生の考えに似ていると思いました。今回の講演で、私の心の目が覚めた感じがしました。
- ・ 今日の講義を聞いて本当に元気が出てきたし、これからの大学生活において、目標を持って過ごしていきたいと強く感じました。看護学部においても希望を持って、今の医療では実現不可能な夢みたいなことを考えて、学んでいくことが大切なのだなあと思いました。
- ・ これからの人生で自分の中に様々な目標、しかも実現できればよいという夢のような目標を持ち、実現できるように頑張りたい。野田先生は70歳代とお年にも関わらず、東北の独立化という目標を持っていらっしゃる方なので、素敵な方だし尊敬できる方だった。今回の講義を聴いて、自分の考え方を改めようと思った。
- ・ 私の姉は去年この宮城大学を受けました。残念ながら落ちてしまいましたが、姉が地元にある大学でなく

前期も後期もこの大学を受けたのは、野田先生の話を知り、機会に恵まれ、是非この大学に入りたいと思ったからだと思います。その影響で私もこの大学に入ったのですが、大学に入ってからあまりこの大学を気に入っていませんでした。しかし今回の講義で、自分が気に入るような大学生活を送ってほしいことに気が付きました。野田先生がこの大学の先生なら・・・とは思わずに、自分自身で大学をつくっていきたいと思います。

- ・ 高校の時からパンフレットなどで見ていた野田先生の講義を直接知り、機会をこんなに早い時期に迎えて、とても嬉しく思っています。先生はとてもパワフルな人でした。先生は回りの偏見にとらわれず、自分が正しいと思ったことはつき通せ！というようなことを訴えていたと思います。
- ・ 夢見たいな話を～』というのは、なるほどと思いました。最初の方は、少し古典的な感じだなと思ったけど、東北地方の独立の話や、またその他特に名目もなく話していた内容などを聞いていたら、何となく受け入れることができました。大学の階段、どうしてこんなに長いんだろうと思っていたけど、今度から登る時は前を向いて登ろうと思いました。
- ・ 私は将来の夢を持ってこの学校に入りました。その夢は変わっていません。いつかその仕事に就きたいと思っています。ただ、現実的に大学を卒業してすぐにその職に就くことは、とても難しい。現実の生活との関連から4年後の自分の進路に迷っています。私一人の問題ではない、だからこそ私は悩んでいるのだと思います。何年か先の時間の使い方に悩んだり、日々様々なことに悩み、忙しく生活していても、私は時間を失いたくはないと思っています。私は今、本当にまだまだ生きています。生きて、見たい物や一緒にいたい家族がいるからです。私は一度きりの人生、少しは一般的ではない、人とは違う自分の人生を生きたいと思います。ただ、それを楽しみ、いいものにしていくのは、まだまだこれからずっと続く私の課題です。先生のお話は本当にメリハリがあって、聞いていて耳が離せなくなりました。今日はありがとうございました。

【その他】

- ・ 今日、幸い野田先生の講義を聞いて、とてもよかったと思います。今までずっと、自分が年を取ってとんでもないことをしてるんじゃないかなあと思って、すごく悩んでいました。ところが野田先生の講義を聞いて、再び自信と夢を持てるようになりました。人は年と関係なく努力するのか、何を志して頑張っているのか、また他の人が考えられなかったことを構想・発想するのか、によって人生が変わるそうです。本当に素晴らしい講義でした。夢を持たせる、元気を持たせる、自信を持たせる講義で、感心しました。これから自分の年を考えないで、勇気をもって、とんでもないことを考える、実現させるように頑張る人間になりたいです。こんな素晴らしい講義を聞かせていただいて、ありがとうございます。いい勉強になりました。
- ・ 本日は野田先生にお会いできて本当に良かったと思います。想いがかなった気分です。私は既に社会人ですが、学生時代に宮城大学の学生さんのように毎週お話をうかがえていたら、もっと人生が変わっていたのではないかと思います。野田先生が姿勢が大切とおっしゃった際、普段の自分の姿を思い浮かべ、ハッとしました。メリハリのある生活をしていけば、きっと年齢を重ねても野田先生のように魅力的でいられるのでしょうか。私も野田先生のように輝いている人間になれるよう努力したいと思います。8月にできる先生の事務所、どんなところなのか、ぜひ拝見させていただきたいものです。本日は貴重な体験をすることができました。ありがとうございました。